

前兆

de JAIRIZ

いつになく眠気が来なくて、深夜放送を聴く。

落語家の鈴々舎馬風の対談。6年前に脳梗塞で倒れ入院・手術・リハビリなどの話し。そして、その“前兆”をインタビューが訊いた。『時々目が回った。』とのこと。ギクッ！

実は自分も、2、3ヶ月前から時々「目が回る」ことがあったからである。チョッと静かにしていれば直るので大したことはないと思っていた。しかし、このラジオで、脳梗塞、脳血栓…なにか脳に障害があるのかも、と思った。今日は土曜日。病院は休み。止む無く月曜まで待って、急遽の休暇を取り脳神経外科で検査・診断してもらうことにした。

開業は9時からなので9時15分前に病院到着。もう多くの人が待機している。受付で診察順番9番の札をもらう。待ち時間は長い。11時15分頃に受診開始。

問診、バランスチェック、眼底検査を受ける。三半器官(耳の器官)の異常と思われる、との診断。脳の状態も確認したいということで、いったん部屋を出てCTスキャン及び聴力検査を受ける。

また待機。しばらくして、その結果を元に再診断。脳みそには異常はないとの事で一安心。脳梗塞などの病気でなくて良かったと思った。そして聴力も左の高域周波数の感度が若干低下しているが、問題となるほどではないとの診断。但し、めまいは耳から来るものとおもわれ原因は良く分からないという。病名としては、「良性特異性眩暈(マイ)症」とのことで、いわゆるメヌエル氏症候群とは異なるらしい。結局は、頭・耳の血液循環がよくなる薬を飲んでみて様子を見ましようということになった。

周囲の、自分の年と同じくらのひとを見ると、何らかの病気を抱えており、脳関係の人もいる。つくづくそういう年代になったのだなァと思うこの頃である。

前職ではVE病の一種で首痛で首がまわらなくなったり、肝硬変になりかけたり、いわゆる「50肩」や高脂血症になったり段々と病も多くなってくる。

普段から老化を防ぐ生活をする必要があるのだろう。食生活・運動・生活態度 etc.……。無精者の自分にとっては難しいことである。

今回の事態で家族は、一時覚悟を決めなければいけないかと考えた様である。そのような一大事でありました。